

1月24日開催

中央線特急新着席サービス導入に関する 申し入れ 団体交渉を行う！②

4. 現行の中央線特急の乗車人員（調査区間とそれ以外の区間）、及び車内での乗車券類の発売枚数を明らかにすること。

（回答）個別のデータを示す考えはない。

（組合）示せるデータはあるのか。調査区間外でいえば、交通量調査などで把握しているものはあるのか。

（会社）調査区間のみ把握している。乗車実績は6～7割である。参考として平日の甲府以遠は3～5割である。

（組合）車内での発売実績はどうか。

（会社）1列車あたり90～100枚である。

（組合）分会の調査では、例えば33Mの新宿～八王子間で150枚、八王子以遠を含めると200枚以上にもなる。他区所の優等列車と比較しての認識はどうか。また、事前購入をどう対策していくのか。

（会社）比較すれば多いと認識する。事前購入していただくことが課題であり、チケットレスキャンペーンで便利に利用できることを定着させていきたい。その他、ポスターやティッシュ配りなどで周知していく。

車内での発売枚数の現状から、新着席サービス導入の事前周知が重要だ！

5. ホーム上の指定席券売機について、各駅の設置状況及び今後の整備予定を明らかにし、乗車券類の事前購入ができるように対策すること。

（回答）新たな着席サービスに対応するため、指定席券売機を必要な箇所に整備する計画である。

（組合）具体的な整備計画を示すこと。

（会社）東京・新宿駅ホームに指定席券売機を整備する。他支社についても、必ずしもホームではないが特急停車駅に整備していく。

（組合）特急しなの・飯田線など、他会社線からの乗換えが時間僅少であり、現状では自由席特急券を車内で発売しているため懸念している。新着席サービスの周知を図り、事前購入できる環境を整えること。また、長野支社管内の駅において行われている発車間際の無札証明書の発行をやめること。

（会社）他会社への周知は実務上打合せを行っているところである。無札証明書については実態を把握する。

**車内での発売＝車内料金が基本である！
事前に購入できる環境を整えること！**

6. 新着席サービス導入に伴う営業制度の改正について明らかにすること。

（回答）実施にあわせ営業制度等を改正する。

変更内容：指定席・自由席料金を一体化し、事前料金・車内料金制度とする。繁忙期・閑散期をなくし、料金を統一する。定期券の併用を可能とする。（ただし、グリーン車は不可とする）

7. 中央線特急に導入する「えきねっとチケットレスサービス」の車内での取扱いを具体的に明らかにすること。

（回答）当該列車に有効な特急券をお持ちでない場合は、車内にて車内料金により特急券を購入いただくことになる。なお、指定列車の出発時刻までであれば、何度でも乗車列車の変更が可能である。

必要な資料を用意し、現場をサポートすること！

つづく！